

【学校教育目標】 夢に向かって 自ら学ぶ 豊かで たくましい生徒

黒西中だより



TEL 048-768-5454

心のホット相談室 TEL 048-764-1110

<http://kuronishichu.style.coocan.jp/>



第 2 号

令和 8 年 5 月 1 日

生徒数		
1 年	87 名	3 学級
2 年	66 名	2 学級
3 年	83 名	3 学級
4 組	2 名	1 学級
5 組	1 名	1 学級
合計	239 名	10 学級

若葉の成長から気づかされる準備の大切さ

校長 田口 和也

校庭にある桜が薄桃色の花びらを散らしてから、約 1 か月。気がつけば、木々はすっかり瑞々しい若葉をまとい、目にまぶしいほどの新緑の季節を迎えました。

私は毎年、この時期の桜を見るたびに、不思議に感じていたことがあります。つい先日まで細い枝先しかなかったはずの木々に、これほどまで多くの葉が、一体どこに隠されていたのかと。あつという間に空を覆うほど生い茂る生命力を前に、これらの葉はどうやって準備されていたのだろうかという疑問を感じていたのです。

おそらく、この爆発的に成長する若葉は、細い枝に隠されていたわけではなく、冬の間じっと蓄えられていたエネルギーによるものだと思います。桜の木は、寒い冬の間エネルギーを蓄え、春の陽光を栄養へと変えるための準備を着実に進めていたのでしょう。そして、春になると人々が桜の開花で賑わっている間に最終準備を整え、花を散らせると共に一気に若葉を繁らせ、成長の糧を生み出すのです。実は、この仕組みは足元の草花も同様です。太陽の光を最大限に浴びて成長するために土の中で静かに準備をし、この時期になると溜めていたエネルギーを一気に開放します。また、草取りで忙しくなる日々がやってきたなと思いながら、ふと、自然界の急激な成長は、周到な準備の上に成り立っているのだと気づかされました。

このように気候が穏やかになった先月 27 日、本校では「立志式」を挙行いたしました。本校全生徒が「立志の誓い」という作文を書き、8 名が代表として登壇し、自らの志（こころざし）を力強く発表してくれました。壇上で語られた言葉の一つひとつは、どれも自分自身の内面と真摯に向き合った、素晴らしい出来栄でした。将来の夢、社会への貢献、それらを実現するために行う努力など。自分が決めた志を呼び上げる立派な姿と決意に満ちた言葉は、会場で聴いていた他の生徒たちにとっても大きな刺激となったはずです。発表した 8 名はもちろん、式に臨んだ全生徒が、自分がどのように成長していきたいのか、その心の準備を始めた瞬間であったと感じています。

立志式の式辞では、「己にとって生きる意味を見つけたとき、心の軸ができる。心の軸は身体の軸を支え、身体の軸は心の軸を支える」という 14 年前に放映された大河ドラマの 1 シーンで使用された言葉を紹介しました。生徒の発表してくれた決意は、「己にとって生きる意味を見つける」第 1 歩だと思います。木で言えば若葉の芽吹きでしょうか。しかし、立派な葉を広げるためには、桜の木が冬の間エネルギーを蓄えたように、私たちにも必ず「準備」の期間が必要です。

さまざまな事には必ず結果がありますが、その良し悪しは、準備で決まると言っても過言ではありません。中学生という時期は、まさに人生における極めて重要な準備段階です。日々の学習、部活動、友人と過ごす時間、そのすべてが、将来皆さんが大きな花を咲かせ、豊かな葉を茂らせるためのエネルギーになります。

「自分をどう成長させたいか」という志をもち、日々の生活の一步一步を大切に踏みしめていきましょう。